

流木地蔵

2020.03.01 H. Miyata

昨年秋の台風19号の大雨で市内を流れる思川も決壊寸前まで増水した。その際に上流から様々なゴミや間伐材などが流れ着いた。ペットボトルなどは地元の人たちの協力で徐々に片付けられたが間伐材だけは手に負えない、太い丸太が今も堤の斜面にゴロゴロと転がっている。

ウォーキング中にふと思いつき、車で行って適当な丸太を家に運び、お地蔵さまを彫った。



堤の遊歩道のわきに3体安置したところ、数日経つとよだれかかけや毛糸の帽子をかぶせたり、お賽銭やアメ玉などがお供えしてある。たぶんウォーキングの人たちだろう。

こちらも通りすがりのひとりとして手を合わせているが、この作者不詳のお地蔵さまたちこれからどうなるのか見守って行きたい。

～ 終 ～